

たけた 市議会 だより

NO. 54

令和元年8月1日発行



雨あがりの久住高原

写真提供者

田北 敏彦 1957年生まれ 竹田市久住町在住

Profile

退職教職員写真クラブ「やまなみ」会員 労金や教育会館に定期的に展示しています。
久住ふるさと史学習グループ会員
大分県人権問題講師
竹田市文化財保護調査委員

- 議長就任ご挨拶 所属委員会等一覧 2
- 一般質問 3～ 9
- 行政視察報告 10～11
- 予算特別委員会 12
- 第2回定例会等の議決結果 12～13

議長就任ご挨拶

議長 佐田 啓二

5月10日の第二回臨時会において第十代の議長に就任しましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

合併から14年、今や竹田市は大きな転換期を迎えようとしております。

1月には中九州横断道路竹田ICまでが開通、悲願でありました大蘇ダムが来年には供用開始、防災の要であります玉来ダムも3年後には完成、これらにより竹田市の経済は飛躍的に発展し、安心・安全の市民生活は特段に向上することが期待されます。

岡城がこのたびNHKで放送された『あなたも絶対行きたくなる！日本「最強の城」スペシャル』で日本最強の城に選ばれました。温泉あり、国立公園あり、エコパークあり、農業産出額は大分県一位など自慢を挙げれば枚挙に暇がありません。このように非常に高いポテンシャルを持った竹田市がいよいよ花開くその時が来ました。このチャンスを活かしていかねばなりません。

令和という新たな時代を迎え、竹



田市の豊かな未来を構築するために、「市民が主役」を原点に「二元代表制の一翼を担う議会の責務を十分に果たしていかなければならない」と強く思うところです。

市執行部と議会が車の両輪というお互いの立場を尊重する中で監視の目は緩めず、自らの政策立案能力を高め、政策が合致すればその実現のため力を合わせていく、そのような議会運営を目指します。

結びに、市政発展と市民の皆様のご幸せを希求し、努力してまいりたいことをお誓い申し上げます、議長就任の挨拶とさせていただきます。

所属委員会・所属会派 一覧

常任委員会名	委員長	副委員長	委員			
総務常任委員会	佐藤 美樹	鷲司 英彰	日小田秀之	坂梨宏之進	吉竹 悟	佐田 啓二
産業建設常任委員会	佐藤 市蔵	上島 弘二	渡辺 克己	徳永 信二	本田 忠	
社会文教常任委員会	首藤健二郎	阿部 雅彦	山村 英治	井 英昭	加藤 正義	

委員会	委員長	副委員長	委員						
議会運営委員会	坂梨宏之進	井 英昭	首藤健二郎	佐藤 市蔵	渡辺 克己				
市議会だより編集委員会	上島 弘二	井 英昭	首藤健二郎	佐藤 市蔵	佐藤 美樹	鷲司 英彰	本田 忠	佐田 啓二	

会派名	会長	副会長	事務局長		
清風会（せいふうかい）	加藤 正義	佐藤 市蔵	首藤健二郎	日小田秀之	徳永 信二
新風会（しんぷうかい）	坂梨宏之進	佐田 啓二	阿部 雅彦		
新生会（しんせいかい）	鷲司 英彰	渡辺 克己	井 英昭	本田 忠	山村 英治

※会派に属さない議員……上島 弘二、佐藤 美樹、吉竹 悟

市政を問う

一般質問

令和元年第2回定例会は、6月3日から6月28日まで26日間の日程で開かれました。6月7日・14日・17日、12人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。



南海トラフ巨大地震に備えるための災害対応について

問 竹田市における被害想定はどの程度か。

総務課長 津波による被害を想定しているので被害者はいないが、建物被害が全壊29戸、半壊97戸、揺れは震度6弱としている。

問 人的被害を限りなくゼロに近づけるために取り組んでいることは。

消防長 緊急消防援助隊派遣など応援要請を行った際の受援体制づくりや総合防災訓練による対応能力の向上に努めたい。

総務課長 危険なブロック塀等の解体撤去や住宅耐震化の補助金を交付したり、地域における避難訓練等に力を入れたりしたい。

問 津波被害等による他の市町村からの受入態勢は、どのようになっているのか。

総務課長 大分県及び市町村相互



阿部 雅彦

間の災害時応援協定に基づき、必要な物資や避難する際の収容施設の提供をしていく。

生産年齢人口と消費人口からみる竹田市経済の現状と課題について

問 15歳から65歳までの生産年齢人口からみる竹田市の生産性と消費の実態と課題は。

商工観光課長 生産年齢人口は約8,500人で、率にすると約40%。市内総生産額は3年前のデータで714億円。3年連続の減少。

問 企業誘致で生産年齢人口の減少を食い止められているのか。

企画情報課長 企業誘致にも挑戦しながら、地場産業の育成や移住定住支援に取り組む。

問 外国人労働者の受入の状況は。

商工観光課長 企業や地域住民、在留外国人の声を聞き、大分県と連携し、受入の環境整備、情報提供や相談窓口を設置していきたい。

問 外国人観光客の受入の仕組みづくりを進めるべきではないか。

商工観光課長 大分県やキャッシュレス決済事業者と連携した取組を推進したい。



吉竹 悟

財政状況について

問 基金残高(預金)、地方債残高(借金)、地方交付税(国からの仕送り)を踏まえた今後の財政のあり方について伺う。

財政課長 基金残高は、29年度末で財政調整基金約34億円、減債基金約7億2千万円、特定目的基金約49億円、合計で約90億2千万円である。地方債残高は、29年度末約148億円である。行政執行は市民の信託に基づいて運営され、また市民の租税負担義務を基礎として成り立っている。財政運営は、「公平さ」と「適切さ」が求められる。地方交付税は収入の40%程度を占め、財政運営を左右する財源である。合併後10年を経過し、5年間の段階的減額緩和措置を経て、令和3年度から二本算定の普通交付税となる。歳出では、会計年度任用職員制度が始まることなど、経常経費の増額が予想される。公共施設の整備は、一般財源の減少に伴い、より精査をして計画しなければならぬ。

財源として、合併特例債が令和7年度まで延長されたので、令和元年度末の借入れ可能残額が31億円余りの見込みとなることから、その後、どれくらい留保するかを考慮する必要がある。地方交付税の減額された分を財政調整基金の投入で収支バランスをとっているという危うさがある。より一層の事務事業の見直し等で、地方交付税額に見合った予算規模に縮小する事を考慮し、健全な財政運営の確保に努める。

公共施設の現状とあり方について

問 公共施設等総合管理計画に基づく施設の状態と今後を伺う。

財政課長 合併前の施設は老朽化が顕在化しており、多額の改修費用や更新費用が発生する。合併以前からの施設をそのまま引き継いだため、同様の機能を持つ施設が多い。今後、利活用の状況を検証し、行政サービスの質の維持という観点から、市民との合意形成を図り施設の集約・再配置を行っていききたい。

このほかに、体育施設(プールのあり方について質問した。



首藤健二郎

竹田南高校について

問 今年女子サッカー部に11名入り部し、本格スタートした。三位体で取り組んできた成果だと思ふ。この2年間、市との連携取組は。

理事 市外でのイベントや移住相談会等でチラシを配布した。竹田市の広報活動で生徒や部員の獲得に至らなかったとしても、機運づくりにつながるかと考えている。

今後の考え方は。

理事 情報交換しながら、市としてできる事を協力する。



稲葉川の汚染について

問 駅前の稲葉川の現状は。
市民課長 最近では田植えの影響が水

量が減って淀んで見えるが、水質検査によると概ね良好な数値である。

汚さない川づくりの取組は。

市民課長 各家庭においてゴミの削減や生活排水を直接河川に流さない等、一人ひとりの努力が必要である。

問 中心市街地における合併浄化槽の普及率は。

上下水道課長 平成30年度では20.2%。普及活動を行い、普及率向上に取り組んでいる。

クアハウスについて

問 宿泊棟は、3月定例会で3月30日完工予定と答弁している。その後5月20日に変更したが、答弁から2週間どのような事態が発生したのか。

直入支所長 3月定例会での答弁は2月末の工程会議を踏まえたものである。

問 市内の建設会社で、3月完了の条件が厳しいため受注を諦めた会社もある。その会社にはどのように説明するのか。

直入支所長 受注した会社は、工期内の完成が見込める、という判断だった。

問 3月末工期完了で契約書を交

わしている。完了したのは5月下旬であり契約違反しているのに1億円の補助金を返還請求しないのはなぜか。市長に問う。

市長 詳細は、直入支所長から答弁させる。

直入支所長 建設事業と補助金の支払い事業は別個に考えている。補助金の支出は、平成29年度で完了している。顧問弁護士から何ら問題はないという見解をいただいた。

問 返還を求めない理由は。
直入支所長 当時の支所長の答弁を読み返したら、即座に返還するという答弁は見つけられなかった。



加藤 正義
歴史小説「戦神」について

問 「大友二階崩れ」など大友宗麟の時代の作品を多く世に出している赤神諒氏の最新作「戦神」が発売中である。大友の猛将、戸次鑑連の凄烈な物語。入田や津賀牟礼城を舞台に物語は展開する。この歴史小説

を市としてどう評価しているのか。

企画情報課長 盛り上がりを受け歴史文化を切り口にした地域資源の掘り起こしや情報発信をさらに進めていくため、著者である赤神氏を竹田市文化大使に任命させて頂く準備を行っている。

問 発売を飾るトークショーでは、赤神氏や映画監督のタカザワカズヒト氏の熱いトークが交わされた。映画化も夢ではないと感じたが、どう考えているのか。

企画情報課長 映像化には、多額の経費が掛かり、大きな夢である。しかし、大友時代の入田氏、岡城の志賀氏や竹田キリシタンなど魅力的な物語がある。県内の関係団体や行政などと連携し、チャンス呼び込めるよう進めて参りたい。

ドローンの活用について

問 日本百名山を二つ持つ竹田市。祖母山は、ユネスコエコパークに認定され、来年、「山の日」全国大会が久住山を中心とした、くじゅう地域で開催される。赤外線カメラを備えたドローンは、夜間でも体温で遭難者を色別し、把握できる。万に備え、遭難救助に有効である赤外線機能

を有したドローン活用の検討は。

消防長 建設課のドローンは赤外線機能がない。また、祖母山は立ち木の多い現場で、高度な操縦技術を要するので現時点での運用は考えていない。

問 カワウの被害が著しい。ドローンにより、カワウの巣にドライアイスを投入し、卵の孵化を抑える成功例もある。民間との共同で対応できないか。

農政課長 民間事業者の繁殖抑制も参考にしながら、カワウ対策に努めた



竹田市の農業総生産額について

問 竹田市の農業総生産額は、29年度約228億であるが、各生産額

状況把握をしているのか。
農政課長 野菜81億3千万円、米25億円、花き13億8千万円、果実2億8千万円、肉用牛36億2千万円、養豚39億7千万円、養鶏23億3千万円である。28年度に比べ減少している要因

は、天候不良による露地野菜の収量の減少。トマトなどは供給過多となり価格の低下が要因と考える。

外国人労働者について

問 外国人労働者は、竹田市の住民であり交付税の対象であると思うが、雇用主に住居借り上げの補助や雇用者数に応じた補助金は考えられないか。

商工観光課長 竹田市では昨年度、外国人を受け入れている一部の事業所に対して実態調査を行い事業主や監理団体の声を実際聞いたが、今年度は、さらに企業や地域住民、外国人の声を聞くなどして、地域における実態把握に努め、今年の4月から「外国人の受入れ共生のための総合対策」を打ち出した県と共に、外国人材の受け入れの環境整備に関する施策に反映できるよう連携をし、さらに国や県の補助や支援などの情報を共有していく。

後継者対策について

問 農業に限らず、商工業等すべての産業において、後継者対策、特に親元就業が必要であるとして商工業者にも親元就業や新規就業に対

する具体的な政策戦略に取り組み
ないか。

商工観光課長 竹田市独自の取組
としては、既存の「竹田市起業家育成
支援事業補助金」において「個人が現
在の事業を継承し、かつ事業の拡大
を行う場合」、「会社が現在の事業を
継続し、かつ、事業の拡大を行う場合」
とある。それについて補助対象とし、
事業承継や後継者による新しい試
みについて後押しできる枠組みを整
えている。

市長 商工観光課と企画情報課で、
新たな支援制度について検討してい
く。



佐藤 美樹

合併浄化槽の設置状況について

問 市内全域における合併浄化槽
の設置状況は。

上下水道課長 一般家庭の合併浄化
槽設置率は41.2%である。

問 単独浄化槽から合併浄化槽に
転換を促す取組は。合併浄化槽設置

が進まない理由は何か。また、設置
補助制度の有効性は。

上下水道課長 啓発活動では生活
排水処理のパンフレットを配布してい
る。設置が進まない要因として、金銭
面や宅地内に設置スペースがないこと
が考えられる。補助制度では、市町村
設置型を適用しており、国・県市の補
助割合が大きく、設置時の市民の費
用負担は少ない。法定検査費や浄化
槽の修理費等は月々の使用料を充て、
自己負担が少ない仕組みにしている。

問 河川水質について、県とどのよ
うに協議を図っているのか。

市民課長 年2回、市内7か所の水
質検査を行っている。水質に問題があ
れば県と連携し、対応にあたる。

中心市街地の活性化について

問 竹田市中心市街地活性化基本
計画があるが、旧竹田市中心市街地
活性化基本計画との違いは何か。

企画情報課長 平成27年策定の中
心市街地活性化基本計画は、中心市
街地活性化の推進に関する法律に基
づき、内閣総理大臣の認定を受けた
もの。中心市街地の経済活動を推進
することを目的とし、計画期間は5
年間で本年が最終年度である。認定

されると国から集中的かつ効果的に
支援を受けられる。平成14年に策定
した旧計画との違いは、同主旨である
が、加えて内閣府の認定制となった点、
過疎化対策の具体的な目標数値
KPIの設定、計画達成状況の報告
義務、まちづくり会社などの組織作
りが義務付けられた点等、計画の実
効性を上げるための施策が盛り込ま
れたことである。現計画は未着手事
業があり、計画期間を1年延長する。

問 本町再生計画の内容は。

企画情報課長 まちの駅整備事業
を計画している。まちづくり会社と
市民有志が主体となり、本町通りに
ある空き店舗数軒を一体的に取得し、
集客施設を整備する構想である。



佐藤 市蔵

ドクターヘリについて

問 昨年1年間の竹田市への、ドク
ターヘリの出勤実績は。

消防長 竹田市47件、荻町8件、久
住町14件、直入町14件。

問 市内ヘリポートの設置箇所数
は。

消防長 竹田11、荻4、久住5、直入
4か所。

問 着陸場所の選定基準は。

消防長 救急車との連携から、道路
に近い広場等で、最終的にはドクター
ヘリ運航管理室の職員が確認し決め
る。

問 天候、時間帯等の運航基準、ヘ
リ数、要請時にヘリがない場合の対
応は。

消防長 ドクターヘリ運航要領で有
視界飛行が可能な午前8時半から
日没までの間で操縦士、機長が判
断。ヘリは1機。他地区出勤時は、
防災ヘリで対応できるが医師の同
乗が条件。

問 出勤の判断基準は。

消防長 生命の危機が切迫している、
緊急処置しないと社会復帰が困難、
緊急処置に医師が必要など、高度の
医療を要する場合。

運転免許証の返納について

問 返納実態と、代理人による返納
状況は。

総務課長 竹田警察署の統計では、
平成29年度94人、30年度104人と増

加傾向。また、代理人による返納は昨年度1名。

問 免許返納者への優遇措置は。

総務課長 竹田市の優遇措置はない。

市長 大分市等に比べ山間部の竹田市で、タクシー券、バス回数券等を二時的な対応で良いのか、持続可能で継続的な措置を講じたい。

シカ・イノシシの捕獲時の報償金について

問 昨年度のシカ・イノシシの捕獲数は。

農政課長 シカ1,697頭、イノシシ2,727頭で、イノシシは26年度比2.5倍強。

問 捕獲時の報償金は。

農政課長 シカは猟期内1万2千円、猟期外1万円。イノシシは猟期内3千円、猟期外は6千円。

問 なぜ、シカの方が報償金が高いのか。イノシシは多産で農作物被害が大きい、市独自で上乘せできないか。

農政課長 全国的にシカの方が農作物被害が多い。市では防御柵等の設置を勧めているが、県市長会でもイノシシの補助金について提案していく。

このほかに、市道の管理等について質問した。



日本共産党

上島 弘二

史跡岡城跡南側の景観整備について

問 岡城南側の景観整備(南側斜面の樹木伐採等)を訴えてきたが、さらに岡城南側全景が一望できる展望所を対岸の片ヶ瀬の地に設けることができなしか問う。

まちづくり文化財課長 岡城跡の魅力を検討する中で、展望所の位置についても念頭に置きたい。

有害鳥獣対策について

問 平成30年度の国・県・市からの補助額はどのくらいか問う。

農政課長 イノシシは市単独で猟期内3千円、岡城など銃や猟犬を使用できない保護区は市から6千円を交付。猟期外は市と県で各3千円の計6千円。シカは猟期内で国が7千円、県が2千円に市が3千円の合計1万

2千円となり、ジビエ利用の場合は国から9千円、県市が各2千円の計1万3千円となっている。

問 ジビエを活用している猟友会員に対する市の配慮はどうなっているか問う。

農政課長 加工品を開発するなど観光的要素を含んだ展開も考えられるが、今後、県及び近隣の自治体や狩猟者の皆さんと協議を重ね、ジビエ活用を一層推進したい。

緊急車両の通行困難地域の解消について

問 消防車・救急車など、全域に緊急車両等の通行困難な道路や、トンネルがある地域はどのくらいあるか問う。

消防長 市内全域の市道において緊急自動車等の車両通行困難な地域はないが、里道沿いの集落については数地区確認している。

問 里道沿いの道路狭隘な地域での、緊急時の対応を問う。

消防長 救急車と軽自動車の緊急車両を同時出動させ対応している。

問 里道の道路の拡幅時に生じる地権者との土地交渉について、行政の対応を問う。

建設課長 過去において里道の拡幅

に係わる交渉を行った経緯があり、用地交渉を地元の方のみで対応したという報告はない。



井 英昭

乳幼児期の子育て支援について

問 平成30年度の市全体の出生数、旧校区ごとの出生数は。

市民課長 市全体では79名。竹田地区(以下、地区を略)16名、岡本1名、明治0名、豊岡10名、玉来9名、松本6名、入田1名、姫岳1名、宮砥0名、菅生4名、宮城1名、城原2名、荻7名、柏原5名、久住3名、白丹1名、都野6名、長湯6名、下竹田0名。

問 チャイルドシートの貸出を交通安全協会竹田支部が行っているが、短期のみとなっている。竹田市の方で長期の貸出はできないか。

社会福祉課長 課題は多いが研究・検討を行いたい。

問 新潟県加茂市や燕市ではチャイルドシートの購入補助を行っている。少子化を逆手に取った政策で、

竹田市でも考えられないか。

社会福祉課長 子育て支援に関しては他市に見劣りのしない予算規模のサービスを提供している。現在の事業を含めた総合的な見地から検討しなければならぬ。

問 豊後高田市ではチャイルドシート以外にもベビーカー、ベビーベッドなどの貸出を行っている。竹田市でも考えられないか。

社会福祉課長 民間事業者が取り組める方法を考えていきたい。

ICT教育とプログラミング教育について

問 市内の小中学校のパソコン、タブレットの整備は進んでいるか。

教育総務課長 3年計画でタブレットを導入する。29年度小中学校で100台、30年度70台、本年度196台を予定。

問 第4次産業革命と呼ばれるICT技術が支配するこれからの社会をどう捉え、プログラミング教育の指針や方向性を定めているのか。

学校教育課長 物事を実現するための力、つまりプログラミング的思考を育み、情報社会を主体的に生きるため、未来の社会を創造する子ども

たちの育成を目指し、地域や大学等との連携で将来を見据えた教育に取り組んでいく。



山村 英治

国営事業の同意取得について

問 国営大野川上流土地改良事業の同意取得の進捗状況と今後の計画は。

農林整備課長 受益者から、基幹水利施設管理事業の同意が必要なことから、3月定例会において、概算事業費を1,492万円として、事業施行の議決を経て、4月8日から12日の間で概要公告を行った。9月末までに3分の2以上の同意を得れば、2市1村で行う基幹水利施設維持管理負担が40%で済むようになる。

問 国営事業の計画では、大蘇ダム430万t、大谷ダム150万tの貯水機能があって、計画通りの通水が可能だが、現況の大谷ダムは80万tの機能しかない。国・県・市は、このことをどう認識しているか。

農林整備課長 大分県・竹田市・地元土地改良区とで、このことに対応する重要性を認識している。対策についてしっかりと検証していく。

潜伏キリシタン遺物の実証と活用について

問 竹田市では、潜伏キリシタンを「隠しキリシタン」という造語で紹介している。この根拠を問う。厳しい禁教の時代に、城下の垂水屋で踏絵の最中に床が抜けて、地下の礼拝所が発覚したと喧伝している。岡城の竹やぶで見つかったヤコブ石像は、現在「伝聖ヤコブ石像」と紹介している。古文書や、ローマ法王庁に残る宣教師の書簡に何も出てこないが、どのような実証をしたのか。

竹田キリシタン研究所長 「隠しキリシタン」については、サンチャゴの鐘を岡藩が秘蔵したこと、礼拝堂が高級武士の屋敷近くにあり、藩主が一定の時代までキリシタンを庇護したこと、

長崎、島原のキリシタンと区別するために造語を使用している。垂水屋騒動については、商家に言い伝えられたことである。ヤコブ石像については、平成27年に、阿蘇火山博物館に成分分析を依頼したところ、地中海沿岸にある砂岩であることが判明した。制作年代の特定を県立芸短大の原田裕明先生に依頼したところ、13世紀のルネッサンス期のものと判明した。

問 竹田市と(株)長湯ホットタブとの土地の貸借契約について、「使用貸借」という方法を採用した理由を伺う。



鷺司 英彰

問 竹田市と(株)長湯ホットタブとの土地の貸借契約について、「使用貸借」という方法を採用した理由を伺う。

直入支所長 宿泊棟・レストラン棟建設の募集要項の中で、土地の使用に關しては無償貸し付けが前提であったためである。

問 相手方の会議録等で、土地の貸

借契約について確認できたか。

直入支所長 契約書に社印や社長印が押印されている。それが法人としての最終行為であると理解している。

問 当初レストランは1000人収容、宿泊棟は20棟建設となっていた。契約と違うことから土地の使用貸借は破棄できるのではないか。

直入支所長 レストラン棟と宿泊棟建設が目的であると理解している。

まちづくり会社について

問 まちづくり会社を設立した当初の目的を確認したい。

企画情報課長 「まちづくりたけた(株)」は平成27年1月に設立された。中心市街地を元気にすることが目的である。

問 設立当時と現在を比較して、目的に変わりはないか。

企画情報課長 地元を元気にするという目的に変わりはないが、電力の取次事業が加わった。平成29年から「みやまスマートエネルギー」の取次店となっている。

問 電気の地産地消をうたっていたが実際は地産になっていない。また収益面からも問題があるのではない

いか。

企画情報課長 自治体を取り組む電力事業の過渡期にある。翌年からは300万円から350万円の収益が見込まれる。

市長 商工会議所の会頭を含め、若い人たちが出資をして自分たちが経営者になってやろうという機運が生まれた。これをトータルコーディネートしていくのが、まちづくり会社の使命であると思っている。



渡辺 克己

クアハウス併設の宿泊棟とレストラン棟について

問 30年2月16日締結の施設維持管理運営事業契約書中の「別添の条項」は募集要項で示した実施内容が転記されたものであるのか。

直入支所長 確認したい。

問 工期の遅れに関する事業者との対応が遅すぎたのではないのか。

直入支所長 3月末完成は2月の工程会議で「人員確保ができれば」との

判断から議会答弁したものである。

市長 多少の遅延は感じていたが、一日も早い完成を望んでいた。

問 12月定例会の答弁では、シングルユース20棟ではなかったか。

直入支所長 6棟の間仕切りのカーテン(パーテーション)をすることでシングルユース20棟とした。

問 経営上必要とした宿泊棟の20棟80人、地元の要望としてレストラン棟の定員数100人が確保されていないと思うが、宿泊棟76名とした定員数で消防と保健所の許可は取れているのか。

直入支所長 保健所の許可は取った。消防署の許可は確認していない。

市長 消防については76名で届けてある。定数については大きな差異はないと報告を受けている。

問 どの時点で現規模となったのか。

直入支所長 10月29日に建設の契約を行った。10月時点で今の計画となった。募集要項に沿って事業者の要望により変更した。

問 募集要項上の規模が変更されたことはよいのか。

直入支所長 要項の中で協議により建物の構造等変更は認めている。基本条件は守られている。

問 工期の大きな遅れについての責任は誰にあるのか。

直入支所長 関係者それぞれに責任があると考ええる。

問 営利を目的とした施設であり、その運営を民間に委ねる中で、市民の健康づくりにどう関わっていくのか。

直入支所長 営業の空き時間で健康づくり等利用したい。

問 施設規模が縮小したこと、工期の大幅な遅れを生じたことに対して補助金の減額が必要ではないのか。

市長 1000人の立食が可能である。完成した施設の経営がうまくいこうとが大事であり、皆で育てていくことが必要である。予算、決算を通してということから減額はない。



常任委員会の行政視察報告

総務常任委員会

委員長 佐藤 美樹

アセットマネジメント推進基本方針

(愛媛県新居浜市)

アセットマネジメントとは、将来的な施設の老朽度合や発生する維持管理費用を予測し、その予測に立って、計画的に施設の修繕、改修、処分、統廃合を行う取組である。築50年が寿命とされる公共施設やインフラの多くが、新居浜市では2030年に斉に建て替え時期にあたる。その単年



新居浜市

度に過剰な財政負担が生じることを避ける施策として、建物使用年数を65年まで長寿命化し、更新費用の平準化を図っている。具体的には、建物を事後保全ではなく予防保全という基準で改修を進めている。同時に公共施設整備基金の計画的な積立を行い、後年の更新費用に備えている。課を横断的に調整する体制や施設保全情報システム導入等、系統だった公共施設管理の好例であった。

住民自治について(愛媛県内子町)

内子町では、人口減少と過疎化が進む中、自治組織の構築と活性化を進めてきた。地区ごとに住民自ら「地域づくり計画書」を作成し、活性化事業に取り組んでいる。どういう地区を作りたいのかという明確なビジョンを住民が有する。その計画書作りや計画実現の補佐として町職員が住民に寄り添い、あくまで地域づくりの主役は住民である。結果、住民による自発的な活性化事業が創出され、自立した地域づくりが実践されている。



内子町

人材育成・行政経営改革方針について

(愛媛県松山市)

松山市では、徹底した市民目線の行政を目指し、人材育成と行政経営改革を一体化した方針を立てている。「ひと」、「仕事」、「組織」を内部から改革し、職員の資質を向上させるための環境づくりを行い、その結果を市民サービス満足度へとつなげる取組を進めている。核となるのが各部に配置される庁内人材育成推進員で、研修や指導を細かく行っている。また、松山市は昇任試験制度を採用している。これは職員の意識向上を図り、年功

序列に縛られない組織を構築するのに有効である。

今回視察した三例は、行政の既成概念を脱し、課題解決のために大きく舵を切った姿勢が印象的であった。特に公共施設管理や自治会制度は為政側として改革に着手しづらい案件である。しかし、地域を持続するためには避けられない議論であり、核心に踏み込まなければならぬ時期を迎えている。今研修の成果を当市の議論に生かしたい。



松山市

社会文教常任委員会

委員長 首藤健二郎

半世紀にわたる町並み保存を学ぶ

(奈良県橿原市)

橿原市、今井町には東西600m、南北310m、約17haの地区内に重要文化財が9件、伝統的建造物が504件と、町屋が残された数では全国トップを誇る。昭和49年には町並み保存運動が始まったが、昭和50年に伝統的建造物群保存地区制度が成立して以来約20年かかって現在の取組に至ったそうである。住民の意見は二分した。保存か開発か。粘り強い説得と、確固たる信念が今に生きているのではないだろうか。町を歩いてみると驚くほど静かだった。狭い道幅ではあるが、圧迫感もなく落ち着きを感じる。

一軒の喫茶店に入ると、10代の女子グループや20代カップル等で賑やかだった。静かな佇まいとのギャップに驚いたが、そう言えば近くの建物の中から元気な園児の声も響く。学童保育クラブとして空き家を活用し、子どもたちに町の価値を伝えようとしている。住民を無視した調査や保存への異議があり、地域の将来は住民の総意で決めるべきとの方向が示され、閑

静な住宅地を前提とした保存を目指す基本方針を着実に進めてきた。誰のために整備するのか。行政と市民が一体となって進める姿勢が素晴らしい。



橿原市

多世代にぎわい作りを学ぶ

(奈良県桜井市)

平成6年、桜井駅前の百貨店が撤退した桜井市。にぎわいを取り戻すために、まほろばセンターをリニューアルした。その中心が「ひみつこぼーく」である。ポーネランド社という全国で21か所のあそび場を展開している会社がプロデュースし、ミズノスポーツサービス社に運営業務を委託している。今年5月にオープンし、利用者は既に1万人を超え、年間4万人の目標設定だが6万人を超える勢いだ。全天候型の広場は快適で、安全。プレイリ

ーダーが遊び方等を教えている。ひみつこぼーく周辺には多目的ホール、子育てのサポートを行う「ドレミの広場」や、健康づくりをサポートする「健康ステーション」を整備し、多世代の人が活動交流できる機能を強化した。広々とした施設内で楽しそうに遊ぶ子どもたち。そしてそれを温かい目で見つめる保護者がいる。子どもも大人もいきいきと楽しく過ごせる場所。そんな場があれば、地域の「元気」や「にぎわい」につながるのではないだろうか。

何を残し、何を变えるのか。今後も大いに議論し、竹田市に活かしていきたい。



桜井市

議会を傍聴にいらっしやいませんか

所定の受付簿に住所・氏名等を記入するだけで、本会議や各委員会を傍聴することができます。

どうぞ、お気軽においでください。

また、ケーブルテレビでも定例会初日の提案理由の説明と、一般質問及び代表質問の中継を行っています。

傍聴席には限りがあるため、希望者が多い場合にはご希望に沿えないこともあります。

お問合せ 竹田市議会事務局 ▶▶ ☎0974-63-4813

第2回定例会 予算特別委員会

可決

令和元年度

一般会計補正予算

2,526万5千円増額
(総額: 198億6,324万5千円)

令和元年第2回定例会・予算特別委員会が6月19日・28日の両日開催され、付託された一般会計予算を慎重審査した結果、全会一致で可決されました。

補正予算の概要

【歳出】		◆商工費	
◆総務費		城下町交流 プラザ建設工事請負費	1,500万円
ふるさと竹田応援基金積立金	3,030万円	◆教育費	
コミュニティ助成事業補助金	1,180万円	宮城台小学校閉校記念式典等補助金	150万円
◆民生費		■人件費	
幼児教育・保育無償化システム改修委託料	884万6千円	職員の給与とカット等	△1億1,226万3千円
◆衛生費		【歳入】	
風しん第5期定期接種電算システム等変更委託料	259万2千円	森林環境譲与税	2,115万7千円
風しん第5期定期接種委託料	1,000万5千円	分担金及び負担金	20万4千円
◆農林水産業費		国庫支出金	1,654万9千円
鳥獣被害防止柵導入事業原材料費	1,698万8千円	県支出金	320万円
森林環境譲与税基金積立金	2,115万7千円	寄附金	3,030万円
		諸収入	1,180万円
		繰入金 (財政調整基金)	△5,794万5千円

令和元年 第2回定例会

令和元年6月3日～28日
議案等の議決結果

条 例 案		
議案番号	件 名	結果
議案第69号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理等に関する条例について	可 決
議案第70号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理等に関する条例について	可 決
議案第71号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理等に関する条例について	可 決
議案第72号	竹田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可 決
議案第73号	竹田市火災予防条例の一部改正について	可 決
議案第74号	竹田市基金条例の一部改正について	可 決
議案第75号	国営大野川上流地区土地改良事業の農業用排水施設の管理に関する条例の制定について	可 決
議案第76号	竹田市国民健康保険税条例の一部改正について	可 決
議案第77号	竹田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可 決
議案第78号	竹田市部落差別等あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例の一部改正について	可 決
予 算 案		
議案番号	件 名	結果
議案第60号	令和元年度竹田市一般会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第61号	令和元年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第62号	令和元年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第63号	令和元年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第64号	令和元年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可 決

議案第65号	令和元年度竹田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第66号	令和元年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第67号	令和元年度竹田市水道事業会計補正予算(第1号)について	可決
一 般 案		
議案番号	件 名	結果
議案第68号	竹田市教育委員会委員の任命について	同意
議案第79号	国営大野川上流地区土地改良事業の事務の受託について	可決
議案第80号	動産の買入れについて	可決
議案第81号	財産の貸付けについて	可決
議案第82号	財産の無償譲渡について	可決
議案第83号	市道路線の廃止について	可決
議案第84号	市道路線の認定について	可決
議案第85号	市の境界変更について	可決
議案第86号	財産の無償譲渡について	可決
議案第87号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決
議案第88号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決
議案第89号	和解及び損害賠償の額の決定について	可決
請 願 ・ 意 見 書 案		
議案番号	件 名	結果
請願第1号	義務教育費国庫負担率2分の1復元に関する意見書の提出を求める請願	採択
意見書案第1号	義務教育費国庫負担率2分の1復元に関する意見書	可決
意見書案第2号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	可決

令和元年 第2回臨時会

令和元年5月10日 議案等の議決結果

一 般 案		
議案番号	件 名	結果
報告第1号	専決処分事項「竹田市税条例等の一部改正」について	承認
報告第2号	専決処分事項「竹田市都市計画税条例の一部改正」について	承認
報告第3号	専決処分事項「竹田市税特別措置条例の一部改正」について	承認
報告第4号	専決処分事項「竹田市国民健康保険税条例の一部改正」について	承認
報告第5号	専決処分事項「竹田市介護保険条例の一部改正」について	承認
議案第59号	令和元年度竹田市一般会計補正予算(第1号)について	可決
決 議 案		
議案番号	件 名	結果
決議案第2号	本田忠副議長に対する副議長辞職の申し入れに関する決議	可決

■第2回定例会・第2回臨時会 賛否一覧表 ※賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号・件名	議員名(議席番号順)														審議結果		
	首藤健一郎	佐藤市蔵	上島弘二	佐藤美樹	鷲司英彰	山村英治	阿部雅彦	渡辺克己	井英昭	徳永信二	日小田秀之	坂梨宏之進	加藤正義	吉竹悟		本田忠	佐田啓一
議案第69号～ 議案第71号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理等に関する条例について	○	○		○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第78号	竹田市部落差別等あらゆる差別をなくし人権を擁護する条例の一部改正について	○	○		○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	可決
決議案第2号	本田忠副議長に対する副議長辞職の申し入れに関する決議	○	○					○		○	○	○	○		-	-	可決

※議長は表決に参加しないため、表決結果は「-」。 表の見方…○：賛成、-：除斥、欠席などにより表決に加わっていない。

全国市議会議長会・九州市議会議長会表彰



渡辺 克己議員 日小田 秀之議員
阿部 雅彦議員 本田 忠議員 井 英昭議員

去る6月11日に開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、本田忠議員が市議会議員として20年間、井英昭議員、渡辺克己議員、阿部雅彦議員が市議会議員として10年間にわたり、市政の振興に貢献した功績により表彰されました。

また、5月30日に開催された第94回九州市議会議長会定期総会において、日小田秀之議員が、九州市議会議長会理事としての功績に対し、感謝状を授与されました。

県民体育大会結果報告

議員ソフトボール

監督 本田 忠

今秋、県内でラグビーワールドカップが開催されるため、今年の県民体育大会は6月の開催となった。議員ソフトボール競技は、梅



雨入り直前の6月21日、快晴のもと、大分市宮舞鶴球場で行われた。

初戦の相手は、1回戦で大分県議会を破って勝ち進んできた日田市議会。5月中旬から週2回行ってきた猛練習の成果と素晴らしいチームワークによって、試合序盤から思いがけないほどの大量得点を挙げることに成功。しかし、日田市議会の粘り強い猛攻に合い、逆転負けを喫してしまう結果となった。さすがに、逆転負けは悔しいが、ケガなく、チーム一丸となって戦えた。来年は、雪辱を果たしたい。

議員陸上

監督 坂梨宏之進



今年の県体はラグビーワールドカップの開催時期と重なるため6月の開催となった。やはり雨時期である。議員陸上の400メートルリレーはバトン渡しの練習もできていない。しかし、ここは長年培ってきた選手皆さんのチームワークだ。1番走者の吉竹議員をはじめに、井議員、鷲司議員、徳永議員と見事なリレーワークが続いた。なんと県下16郡市の中で6位と見事な成績だ。

個人競技の100メートル走は首藤議員。毎回、出走前のパフォーマンスが有名だが、今回はワールドカップにちなんでラグーマンがボールを持って疾走する格好だ。その功を成してか昨年より一つ順位を上げての6位、素晴らしいの一言。

あとがき

引き続き編集委員となりました。これまでも分かりやすく議会の結果をお伝えできるように委員全員で取り組んできました。

いつも悩むのが表紙の写真で、これまでは季節感を大切にして選んできました。私もカメラが趣味なので個人的にも楽しみにしていました。

ここで市内の写真愛好家の皆さんにお願いです。表紙の写真を大募集します！親しみやすい議会を目指す一環としても、この2年間はぜひ「議会だより」を作品発表の場としてご一考ください。たくさんの方の応募をお待ちしております。

編集副委員長

井 英昭

暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の趣旨に基づき、暑中見舞いなどの挨拶状を廃止させていただいております。また、本年度初盆を迎えられるご親族へのお供物等につきましても失礼させていただきます。新仏のご冥福をお祈りいたします。

竹田市議会

